

▲当時の陸上大会は、いまの諏訪木運動公園で行われ、観客も出てにぎやかでした



【私の思い出】

八木宏二さん (三の町)



合併後、町から市になったことから体育協会をつくろうという動きが出て、私も結成準備にあたりました。私は主に、新潟市、柏崎市などの体協の調査の仕事を担当しました。

加盟10団体で発足、当時の教育委員会のなかに専従の体協事務局もおきました。この結成と同時に専従職員を配置したのが成功したんでしょうね。

とにかく結成後の2年間は苦勞の連続でした。

あの日あの日

念願の市体育協会結成

昭和34年10月発行の館報「白根」に、市体育協会結成の動きについて報じています。

【館報「白根」本文から】

市の体育団体では、9月26日体育の振興についての話し合いを行いました。

市の体育団体では、今後も連絡をとって活動し、早急に白根市の体育協会を設置し、スポーツの振興に努力することになりました。

当時、陸上王国・白根の名を誇っていた陸上競技協会など、各分野活発に活動していました。

市体育協会結成の動きは、この日、設立準備委員会を組織したことからはじまりました。

昭和35年1月25日、市体育協会が発会。初代会長には、川瀬俊一さんを選出しました。加盟団体は、野球連盟、陸上競技協会、相撲連盟、柔剣道振興会、箏球協会、卓球連盟、山岳会、連合青年団、民謡協会、フォークダンス協会の10団体でした。

そして、いまは加盟団体も16となって、ますます活発です。結成当時は副会長で、現在第5代会長、八木宏二さんに当時のお話しをお聞きました。

産休などによる代替え保母・調理員の登録者を募集しています。

希望する人は、履歴書と登録申請書(福祉事務所にあります)を同所児童福祉係(☎73-2111)☎247)へ提出してください。

■年齢 満18歳以上40歳まで

■勤務時間 午前8時30分から午後5時まで

■1日の賃金 有資格者= 3,300円 無資格者= 2,900円

詳しいことは、同係へおたずねください。

19日まで受付

か各地域生活センターに用意してある申請書に、必要事項を記入し、同所か同センターへ提出してください。

【継続する人】 その施設に用意してある申請書に、必要事項を記入し、施設へ提出してください。

■添える書類 両親または祖父のうちの、給与所得者のいる場合は、必ず給与所得の「源泉徴収票」を、申請書にはってください。内職従事者は、内職証明が必要です。



保育園児や~い

昭和55年度の公立保育園、児童館の入園希望者を、次のとおり募集します。

■募集施設 新飯田、茨曾根、庄瀬、上八枚、白蓮、白井、大鷲、鷲の木、大郷、根岸、白根、中央、乳児、諏訪木、古川、四ツ興野

■受付 1月5日から19日まで(平日は午前8時30分から午後5時、土曜日は正午まで。日曜・祝日は休みます)

■申し込み方法 (はじめての人) 福祉事務所

わが家のアイドル



遠藤綾子ちゃん(1歳8か月) 正信さんの長女=鷲の木桜町



暮れから正月にかけては、胃や腸など消化器を痛める悪条件がいっぱいです。

生活時間が不規則な上に、食っちゃ寝、食っちゃ寝になりがちで、一日中だらだらと食べたり飲んだり……当然運動不足になり、胃はもたれ、体調を崩してしまうものです。

お正月に限らず、私たちの家庭行事にはごちそうがつきもの。招く側も好意と敬意の印として、ごちそうを用意し、お客の方も、また、それを喜び、すすめられるままにお酒を飲み、食べる——という習慣があります。

しかし、このために体の調子を狂わせているようでは、何のためのお祝いであり、交際なのかわからなくなります。家庭の行事と食事やお酒の関係を、もう一度考えてみたいものですね。

食べすぎと運動不足

声 ハガキで市長と対話から

いままでの接種システム 変えたら…… (主婦=下塩儀)

予防接種のことですが、白根市では対象者に手紙を出すなどし、忘れることなくできるのは良いことです。でも、その日に接種できない場合は、来年まで待たなくてはなりません。

また、体の弱い子どもほど接種してほしいのに、それができません。かかりつけの医師と相談の上、子どもが体調の良いときを選んで接種するシステムにできないのでしょうか。

【市民生活課】 予防接種については、年度の初めに1年間の計画表を全世帯に配布して、実施日時や対象年齢などをお知らせしています。また、実施月ごとに「広報しろね」に掲載して、周知徹底をはかっています。

接種にあたっては、該当者に個人通知を差し上げています。

それには市内全域の日程が記入してありますので、通知書が届いたら子どもさんの健康などに気を配って、日程内で健康状態のよい日に受けてください。

ポリオ生ワクチンの投与は2~3日行っています。他の予防接種は10会場で実施しています。どこの会場で受けてもよいことになっています。

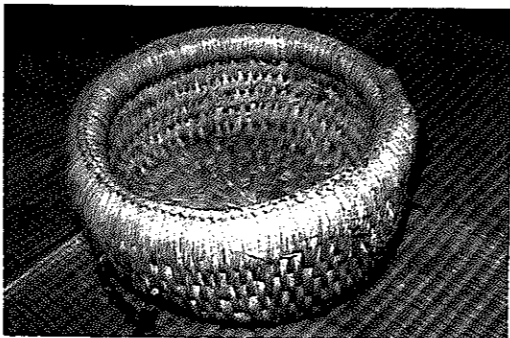
予防接種は、同じような対象年齢の人が、決められた間隔で次々と実施されますので、後で自由なときに接種することが簡単にできないのが現状です。

なお、体質の弱い子どもさんだけに予防接種を受けられなかったという不安な気持ちは、ごもっともだと思います。予防接種の効果は、その地域で80%ほどの人が接種していれば、その人たちが伝染病に対して垣根のような役割を果たして守ってくれます。そして、その地域内では伝染病を防ぐことができます。

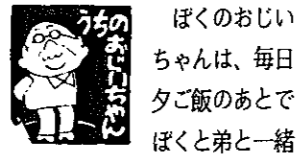
民具紹介



ちぐら



つぐらとも呼び、布で赤ん坊を包んで入れました。もみぐらや、灰、わらくずなどを下に敷いて使ったこともあるようです。夏用に竹で編んだちぐらもあります。(市民俗資料館蔵)



ぼくのおじちゃん、毎日夕ご飯のあとでぼくと弟と一緒に遊んでくれます。

いつもは、おやつを買ってくれるやさしいおじいちゃんですが、弟とけんかをしたり、口ごたえをすると、大きなげんこつをもらうこともあります。

ぼくが大人になったら、おじいちゃんと一緒に梨の仕事をしたいと思います。

写真は純也さんと清さん(61歳・上大郷)



一緒に遊んでくれるおじいちゃん 大郷小学校2年 坂井純也



▲とてもしらやかをママさんコーラス



美しく響くハーモニー みどりの会コーラス部

心の健康と美容は歌声で——と白根市で初めてのママさんコーラス部が誕生。1年3か月あまりになります。

毎月2回の練習は、「学生時代」「若者たち」「赤とんぼ」などの曲を講師の谷川久雄先生のオルガンに合わせて合唱します。レパートリーは約50曲もあるそうで、楽しい雰囲気がいっぱい——。

このみどりの会コーラス部(小林千栄子部長)は、現在会員が36人で、平均年齢は約40歳。練習日には必ず25人くらいは集まり、結成以来1度も休んだことのない人が4人もいます。

コーラスだけではなく、料理

講習会や野外コーラス旅行もあり、なかなか活発です。

ママさんコーラスに関心のある奥さんは、小林千栄子さん(4の町 ☎3488)に、お問い合わせください。

【会員の声】

大井 洋さん



コーラス部ができてから、かかさず参加しています。コーラスは楽しくて、とてもさわやかな気分になれるんです。

家族の協力と理解があればこそ続けてこれたのでしょね。